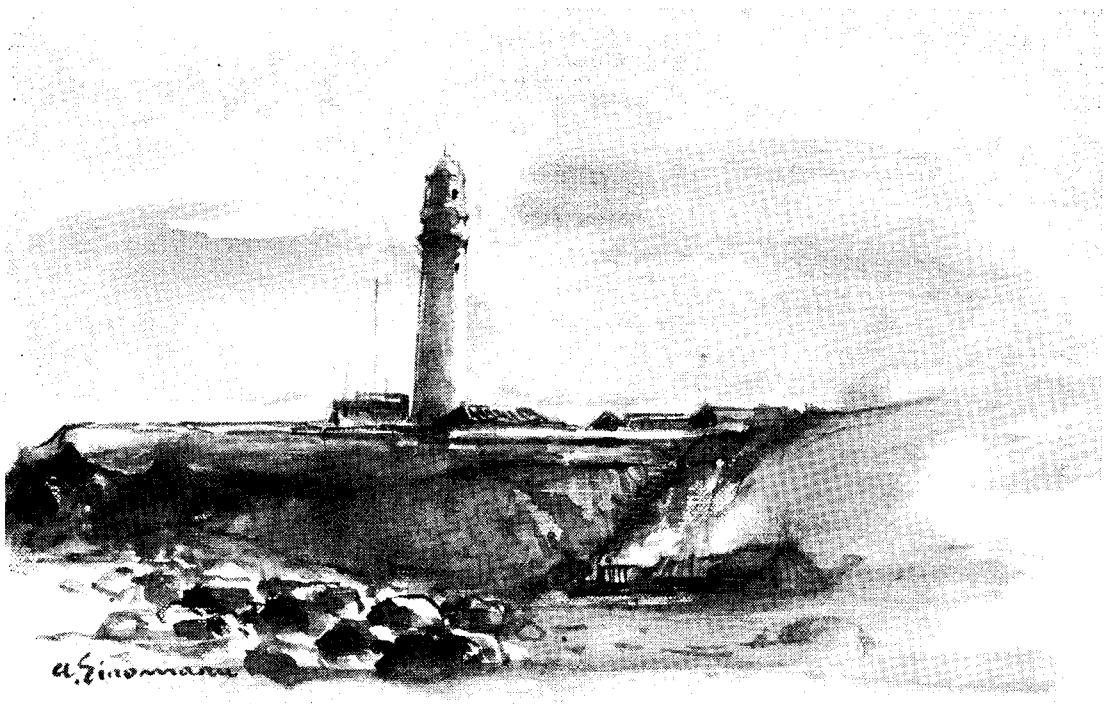
こすど公民館報
発行所　小須戸町 中央公民館
発行人　成田常信
発行日　毎月15日
一部15円
印刷所　㈲昭栄堂印刷所



「春の岬」

城丸明男

公民館58年度方針

基本方針に基づき一層の努力
旧年度にもましてのご支援ご協力を

ものみな生気をとりもどし、うららかな春の日ざしをうけるこの頃となりました。

日頃公民館活動に御協力をいただいております事を厚く御礼申し上げます。

さて、昭和五十八年度を迎え公民館では一層の活動の充実と住みよい町づくりのために、次の基本方針に基づき公民館を運営していきます。

① 明るい家庭と住みよい地域社会づくりに努める。

② 分館活動の強化・充実に努める。

③ 行政及び学校教育との連携を密にする。

また、基本方針と並行する重点施策として、

(1) 各種団体、組織との有機的連携を拡大

(2) 公民館報の充実と同時に広く住民の意見を聞く

(3) 文化、芸術活動の振興

(4) 読書運動の展開と図書活動の推進

(5) 視聴覚教育の振興とビデオ等の機器の充実

(6) 指導者の発掘と育成

(7) ボランテイア活動の拡大と推進

(8) 体力づくり運動の推進と関連事業の開催

の8つの事項を努力目標として運営していきます

事業計画

昭和五十八年度の公民館事業計画といたしまして、生涯教育を目指し、各種学級講座等による学習機会の拡充と文化活動の推進を図ります。

一、家庭教育

乳幼児期から小中学生の家庭における教育について父母を対象とした学級、講座を開設する。

二、青少年教育

青少年団体の育成と連合組織づくりの推進を図る。

三、婦人学級

地域に根ざす婦人団体の育成と婦人の視野を広めるに必要な知識や技術を習得させるための学級を開設する。

四、成人教育

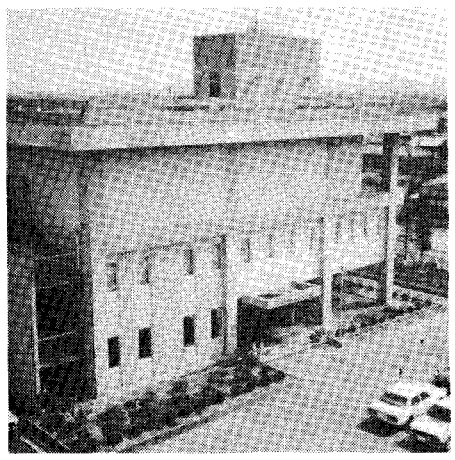
明るい家庭と住みよい地域社会づくりを目指す学級・講座等の開設及び高齢者に対する学習機会の拡充を図る。

五、文化活動

① 各種教室の開催とグループ、サークル活動の奨励援助。

② 芸術文化の発展の場を提供する。

以上、この五つの主旨に沿って公民館を運営してまいります。旧年度にもましてのご支援ご協力をお願いいたします。



四、五月の連休時のごみの収集のお知らせ

四月二十九日から五月五日の祝祭日のごみの収集日と休みは次のとおりです。

収集日

○五月三日（火）

※ただし、ごみの持込みについては休みです。

休み

○四月二十九日（金）

○五月五日（木）

〃婦人の集い〃ご案内!!

～お気軽にご参加ください～

ご好評に応え、今年度も「婦人の集い」を開催いたします。

あなたもぜひ一度参加してみませんか?

日時＝四月二十七日（水）午後七時半～

会場＝中央公民館二階会議室

講師＝親松四郎先生

交通事故をなくしましょう

春の全国交通安全運動

5月11日(水)～5月20日(金)

水からの事故をなくしましょう

社会教育指導員が交替します

退任のご挨拶

親松四郎

ゆさゆさと桜もて来る月夜かな。雪国にもやっと花の季節が参りました。

そしてその春をくりかえして六年の才月が何時の間にか過ぎてしまいました。去る三月私は退任いたしました。

着任以来永い間お世話になりました。有難うございました。

小須戸町の皆様には、社会教育の分野で、中央公民館を窓口としてお目にかかり、その間皆様方からは影になり日向になりあたたかいご支援を賜りましたことを深く感謝しております。

ところがそれに対して何一つなすこともなく過してしまった次第で甚だ恐縮しております。

広げれば何処までも際限なくひろがり、掘り下げれば底の無い深い井戸のような公民館の仕事ではありましたが、それはしょせん人と人との出会いを大切に、相手の側にたった思いやりの心をもって付き合いをあたためることであると感んじた次第です。つくづくそう思いました。このことを学べたことだけでも在職中に得た素晴らしい経験になりました。その為にも小須戸は忘れ得ない想い出の地になりました。本当に有難うございました。

ふりかえれば公民館のさまざまな行事、講座、及び館報のカット、詩等々を通して自分なりに夢をいだきながら輪を広げつつ私なりの努力を一生懸命やったつもりでありますが結果は車のから回りするだけに終り皆様にご迷惑をおかけしました。

紙上をお借りしてお詫び申し上げます。今後ともよろしくお願いしてご挨拶と致します。

新任のご挨拶

佐藤一男

七月より副館長としてお世話になり三月末で退任し、この四月から親松先生のあとを受け、中央公民館に勤務することになりました。先任者の長年にわたり築かれました立派な諸活動を後退させることのないよう微力でありますが努力して参りたいと思います。

皆様と共に考え・工夫をし、協力してよりよい公民館活動ができますようこれまで以上にご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

公民館事務職員が交替しました

「光陰矢の如し」のとおり月日のたつのは早く公民館へ参りましてから早くも十三年が経過いたしました。公民館活動での皆様の良きパートナーであり、良き指導者であった……かどうかわかりませんが、自分なりに一生懸命にやって参りました。今後ともよろしくお願いいたします。

白井　晃

今度新しく公民館事務職員として参りました。皆様よろしくお願いします。

城丸利和

会員募集

庭球協会

庭球協会では、軟式テニスの愛好者を募集しております。

一、初心者クラブ

現在若い男女十五名で楽しい練習を行っています。

二、ママさんクラブ

部員二十名で、親睦を主に、軽く汗を流しています。

三、練習日程・その他

○毎週日曜日

午前九時より

十二時まで

（ママさんクラブは第三日曜日は休み）

○運動公園コートにて

父と子

伯父・伯母との付き合い

詫摩武俊
（東京都立大学教授・心理学）

現代の子供たちの特徴の一つに、伯父さん、伯母さん、いとこなど身近な親類との付き合いがやや薄くなったということがあります。この傾向は特に大都市で著しく、幼稚園や小学校の時期を通して伯父さんや伯母さんの家に一度も行ったことがない子供もいます。

戦前に育った世代は、伯父や伯母がたくさんいて、そこにいる同年配のいとこたちと遊んだ記憶をもっています。

一族は助け合うものとか、親類は大事にしようという考え方がありました。

現在は、伯父や伯母の数そのものが減っています。親子を中心に小規模の家族がこじんまりとまとまって、標準的な四人家族だけで外出したり旅行することはあっても、親類との付き合いを活発にしようという考えはありません。福祉や保障の制度がだんだんと整ってきたので、困ったときには親類を当てにしなくてもいいと考える人が増えたからかもしれません。

しかし子供の発達を考えたとき、家族だけで小さくまとまっているのは好ましいことではありません。自分の家庭以外の家庭を知り、自分の親以外の大人を知り、兄弟とは別にいとこを知っていることは大切です。

伯父や伯母は親の兄弟ですから、どことなく似ているところがありますしかしその家庭に行ってみると、習慣や考え方に違うところがあることに気が付きます。親が叱ることを伯父は叱らないとか、その逆のことがあることに気が付くのです。世の中にはいろいろな人がいて、その人たちの協力の上に成り立っているということを自覚する基礎になります。子供の生活体験が拡大されるのです。

子供の成長後、いろいろと人生の相談相手になってくれるのも、伯父や伯母であることがよくあります。子供が伯父や伯母にかわいがられるためには、親がそれを望み、親とその兄弟の仲が良いことが前提として必要なことは言うまでもないことです。

あなたもヨガを始めてみませんか
第一回講習会開かる

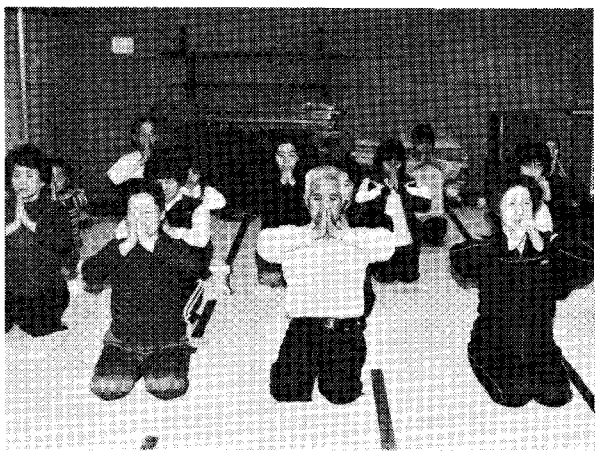
暑からず寒からずの三月二十四日の春宵、小須戸町では始めての試みとして、ヨガ教室が中央公民館で開催いたしました

心身の健康保持のために大変よいといわれているヨガの手ほどきをぜひ実施してほしい、という強いご希望がかねてからありました。

ご紹介するからには、ヨガの本道をゆくものをと慎重に準備を進めておったところ、ちょうどとなりの白根市在住で、加茂・五泉・白根・新潟と教室を開いておられて、熱心な研究家で「野沢一郎」先生を知ることができました。

ご多忙の中を一夜小須戸のためにお願いいたしました。

お集まりの方々は、お年をめされた方からお母さんにつれられての小学生まで、巾広い年令差の男女約二十数名、熱心に受講されました。



先生はもと〳〵自身体が弱い上に、腰椎ヘルニヤで苦しまれ、なんとか健康な体になりたいといろ〳〵試みられましたがヨガがとてもよいということがわかり、長い間研究と修業をつまれ、自分なりのヨガ健康法をあみだされた方です。今はすっかり健康をとりもどされたご経験をもっておられますので、ヨガの本道を実際的にだれにもわかりやすく、ご指導をいただきました。

呼吸と体の運動とを一致させることが、ヨガの最も大切な基本であるといわれ、みっちりと二時間教えていただきました。しかも、毎日必ず続けることが条件であるということで、自分一人でしかも家でできる型をしっかりと教えていただきました。したがって当日はご老人もお若い方もすぐに型に入ることができ、心身ともにすこやかになれるヨガ、のこつを教えていただきました。

終ったあと、参加の皆さんには壮快感を味わってもらい明日からの生きる活力をもたれて帰られました。

町の文化財調査記
その1

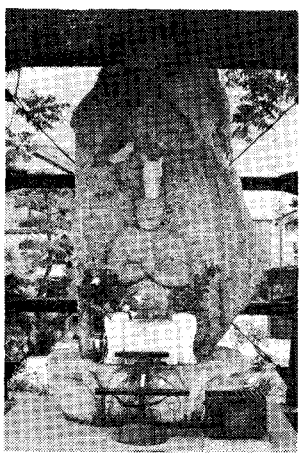
文化財審議委員
柏　大　治

小須戸町文化財審議会委員に委嘱された方が約十人います。

三月二十三日午前九時より、町の文化財としてかねてより審議しておった五ヶ所の調査を実施しました。

この日集合された方は丸山清三郎、吉田治吉、坂井清風、小生で轡田町長さんに挨拶、町長さんは早速文化財条例を見せて、「他町村には、すでに町宝として指定している町村があると聞く、町ではなにもない。廻って是非調査してほしい」と、予算も考えると有難い言葉を頂き、青木さんが一応調査している処を廻ることになった。最初に渉場の馬頭観音、尾崎屋の砂井正明さんも出て説明して下さった。次に横川の弁天堂（竜王堂）境内は荒れ、お堂には本尊もなくただ、慶応年間長沢予内名主の書いた弁天堂の由来の額が見えた。弁天財は七福神の唯一の美人神様ですが、ある時は田畑開発の神になったり都合よくできています。お堂の下に大蛇の胴体が寝ている伝説を考えながら、法華宗の古刹本住寺に向った。住職の五十嵐さんは梵鐘堂を見せて下さった。梵鐘は私が住職になってからだと云われる。天井板の画には江川徳夫、風間福松さんの天女とか色々と描かれている。三十番神堂を拝見、当時俳句の盛んであった俳句の献額二枚を見て、小生が注目されていた釈迦堂に案内された。

最近新築されてお釈迦様を本堂に位牌がならべられ実に立派であった。お住職が発見されたという、天井板に符野家の画工が描かれたと思われる竜虎の雄大な画である。感心しながら拝見、特に釈迦像に転法輪の異像で光背は舟形で徳川中期に修繕してあるものの、真言宗時代の釈迦像として元教育長岡田さんから何回か写真を撮って頂いて護摩堂時代の仏像と執心をもっている。お住職に深謝して、西本願寺長法寺に向い尼憎の朝日さんから寺宝の親鸞伝絵を拝見させて頂いた。四幅で京都の表具師から表具をされたという。室町末期の元亀四年七月五日の年号あり、顕如上人の花押あって、藤原家と思われる画法である。親鸞伝絵としては古い物だ、町宝の値価充分。その絵は親鸞九才の時桜を見て夜花（よは）の嵐が吹かんものかよと世の無情を感じ、叔父の慈鎮和尚から得度された句仏上人が「もったいなや祖師は紙衣（かみ子）の九十年」とよまれたように、三代存覚上人が親鸞聖人の三十三忌に伝絵と御伝絵抄を造られた。上巻八段下巻七段に奥書法然上人を先生として専修念仏を信じ、越後の国府（直江津）に藤井善信として流罪になった承治元年から建暦三年まで越発の豪族三善為則の娘、恵信尼と結婚。善鸞と蓬信を生み、罪はゆるされたが師の法然の死を聞き常陸の稲田の草庵で一宗の基礎となる「教行信証」をその他を書かれたが一宗を開く野心もなく、ひたすら師同行御同朋を求めて弥陀を信じ悪人正機と布教に務め弘長二年十一月二十八日九十才で死去された。浄土真宗では報恩講の十一月二十八日に御伝絵を掛けるものである。



写真は渉場の馬頭観音

役場よりお知らせ

狂犬病予防注射のお知らせ

次の日程により、狂犬病予防注射を行います。

◇月・日
・四月二十五日（月）
◇会場及び時間
・小須戸町役場
午前十時～十一時三十分
・天ヶ沢公会堂
午前一時～一時三十分
・矢代田公会堂
午後二時～二時三十分
◇注意事項
①犬をおさえることができる人が連れてくること
②会場で不用犬は引き取りません。
③飼育者は犬のふんを始末して下さい。

各種教室・講習会
大会等開催のお知らせ

昭和58年度第一回サッカー講習会が開催されます

(1) 期　日
昭和58年4月24日（日）
午前10時～午後4時
(2) 会　場
河川敷サッカー場
(3) 趣　旨
町民総スポーツ活動を推進するため、スポーツ愛好者が一堂に会し、サッカーに関する基本的な技術及び指導法、練習法について研修する。
(4) 対象者
○社会体育関係指導者。
○小・中・高校のサッカー部及び活動者。
○サッカーに興味があり実践したいと思っている方。
(5) 講　師
県立新潟工業高等学校サッカー部顧問
沢村　哲郎氏
(6) その他
申し込み、受け付けは当日午前九時より行ないます。多数の方々のご参加を期待しております。
主催＝小須戸町サッカー協会

婦人バレーボール審判講習会ご案内

いよいよ活動しやすい季節になりましたが、一層ゲーム・プレイが楽しくなるよう計画しましたので一人でも多く参加して下さい。また当日審判員の更新手続き（料金三百円）もいたしますので審判員証をご持参下さい
期日＝五月九日（月）
会場＝町民体育館
時間＝午後七時三十分～
講師＝県婦人バレーボール審判指導員
渡辺俊雄先生
（問い合せは教育委員会まで）

"民謡は大衆歌"
～民謡教室～

毎月二回（第二、第四火曜日）
中央公民館三階の大ホールに於て民謡教室が行われております。皆様お誘い合せの上お気軽にお出で下さい。
山形民謡、あがらしゃれ、福島民謡。
右の民謡を腹の底から唄って心のふるさとを味わってみて下さい。
小須戸町民謡教室

キャンプ指導者講習会のお知らせ

新年度屋外活動を計画している方に一層楽しい思いができるよう協会でお手伝いをします。
なお、以前受講済の方はじめての方、テント貸出し等もありますので必ず受講して下さい。
期日＝四月二十九日
時間＝午後七時三十分～
会場＝中央公民館
主催＝小須戸町キャンプ協会

町民初心者庭球大会開催

日時＝五月一日（日）
午前十時受付
会場＝小須戸中学校テニスコート
対象＝一般（男・女）
中学生
申し込みは四月二十四日まで公民館へ申し込んで下さい。
（雨天の場合は中止）
主催＝庭球協会

第3回町長杯争奪卓球大会

町長杯争奪卓球大会が次の日程により開催されます。多数ご参加下さい
日時＝五月十五日（日）
午前八時より
場所＝町民体育館
競技種目
男女　団体戦
個人戦

ジュニアバレーボール教室を始めます

日時＝毎週日曜日
午前九時三十分より
十二時まで
会場＝中学校体育館
対象＝小須戸小学校、四年、五年、六年の女子
主催＝体育協会
※申し込みは教育委員会又は中央公民館まで。

図書だより

◇四月一日から「図書携出券」の書き替えを行っていますので、ご協力をお願いします但し、次の方は、保護者同伴で来て下さい。
○幼児（保育園児・幼稚園児）
○一年生になったばかりで、自分で良く書けない場合。
◇図書室の利用規定を、次のとおり必ず守って下さい。
貸出日＝毎日午前九時～午後四時三十分まで
（但し、夜間は水曜日七時～九時まで）
休日＝毎週木曜日、祝祭日。
貸出し期間＝一週間厳守のこと）
◇貸出し期間の過ぎた本や県立図書館の本を回収していますので、すみやかに返本を、お願いします。

こどもクイズ

こどもクイズ さあ！考えて？

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え・住所・氏名・学年クラスをはっきり書いてハガキで送って下さい。正解者多数の場合は抽選で賞品をお贈りします。
テーマ
'83 新潟博
一問　新潟博は□□新幹線開通記念として開催されます。
二問　期間は七月□日から八月三十一月まで
三問　新潟博のマスコットの名前は□クちゃんです。
前号の正解は
一問　四　二問　信越
三問　下り
今回は左記の正解者へ賞品をお贈りいたします。
天ケ沢　横山みゆき一年
〃　横山あすか　幼

中学生文芸
――俳句クラブ――

うららかな日の式典に入学式　丸山美奈子
道端に小さく顔出すつくしんぼ　〃
野ら仕事始まり家族の笑顔見ゆ　栗林　竜夫
桜の木日増しに花の紅を増し　〃
桜の木小さな蕾咲き初め　大野美寿保
緊張し校門を入る始業式　〃
そよ風に桜のつぼみまだかたく　横山　進
回数券切るのも楽し春休み　関根　正樹
岸踏めば堅き枯れ葦反り返る　〃
制服は今大きめの新入生　〃

三月句会報
小須戸俳句同好会

牡丹雪橋の普請で遠まわり　越楼
花屋の荷転がして解く雪の上　冨沙子
雪搔いて目の戻るまで部屋暗き　野蒜
温室の灯が底にあり雪深し　香月
どの畑も畝のかたちに雪積もる　松男
離乳粥ふつふつたぎる雛の日　芳人
雪牢のごときハウスや迷い鳥　虚秋
灯一つに仏と対す寒さかな　良遊
おみくじの吉とつづきて春立つ日　庄三郎
捨雪の底に流れの浅く澄む　樫男
外燈が字の入口雪解霧　可津朋
小屏風に澄雄の句あり鮟鱇鍋　蒼穹
参道や垂氷の繋ぐ結び文　素糸
縄飛びの縄持たされて二月尽　久子
牛の眼の泪が光る雪の貨車　秀穂
田母木ただ挿したるのみの雪の原　紀男
放たるる貨車一輛や夕風花　露春
榴やどこ歩いても皆自由　太浪
大寒や兎の皮のちゃんちゃんこ　松山

新保・矢代田附近

我妻清作

雪解けの水田背めつつ流れゆく野火の煙りが痛く眼に沁む